

わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」 に関する文献リスト (2015)

Bibliography of the intensive group experience
and group psychotherapy in Japan : 2015

野島 一彦
跡見学園女子大学
文学部臨床心理学科
Kazuhiko Nojima
Faculty of Letters, Atomi University

坂中 正義
南山大学
人文学部心理人間学科
Masayoshi Sakanaka
Faculty of Humanities, Nanzan University

I. はじめに

本文献リスト・シリーズでは、1989年までは「集中的グループ経験」「集団精神療法」のリストは別々に作成されているが、1990年からは2つのジャンルは一緒に収録されている。以下にこれまでのリストを示す。

●「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1989)

- (1) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1969) 一付：グループ関係者(団体)名簿〔1982年12月現在〕福岡大学人文論叢, 14(4), 1457-1479.
- (2) 野島一彦 1980 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1970～1980) 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 69-93.
- (3) 野島一彦 1982 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1981) 一付：同リスト〔1970～1980〕の追録 九州大学心理臨床研究, 1, 87-95.
- (4) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト

(1982) 一付：同リスト〔1970～1981〕の追録 九州大学心理臨床研究, 2, 107-115.

- (5) 野島一彦 1984 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1983) 一付：同リスト〔～1982〕の追録およびグループ関係者(団体)名簿〔1983年12月現在〕福岡大学人文論叢, 15(4), 1479-1515.
- (6) 野島一彦 1985 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1984) 一付：同リスト〔～1983〕の追録およびグループ関係者(団体)名簿〔1984年12月現在〕福岡大学人文論叢, 16(4), 1527-1563.
- (7) 野島一彦 1986 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1985) 一付：同リスト〔～1984〕の追録 福岡大学人文論叢, 17(4), 775-790.
- (8) 野島一彦 1987 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1986) 一付：同リスト〔～1985〕の追録 福岡大学人文論叢, 18(4), 901-914.

- (9) 野島一彦 1988 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1987) —付:同リスト〔～1986〕の追録 福岡大学人文論叢, 19(4), 981-994.
- (10) 野島一彦 1989 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1988) —付:同リスト〔～1987〕の追録 福岡大学人文論叢, 20(4), 1391-1411.
- (11) 野島一彦1990 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1989) —付:同リスト〔～1988〕の追録 福岡大学人文論叢, 21(4), 1669-1687.
- 「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅠ:単行本, 研究論文 福岡大学人文論叢, 23(2), 501-533.
- (2) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅡ:学会発表, 翻訳, 書評, 海外文献紹介 福岡大学人文論叢, 23(3), 801-832
- 「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990～)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990) 福岡大学人文論叢, 22(4), 1115-1147.
- (2) 野島一彦 1992 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1991) 福岡大学人文論叢, 23(4), 1087-1124.
- (3) 野島一彦 1993 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1992) 福岡大学人文論叢, 24(4), 1343-1382.
- (4) 野島一彦 1994 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1993) 福岡大学人文論叢, 25(4), 1805-1834.
- (5) 野島一彦 1995 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1994) 福岡大学人文論叢, 26(4), 1809-1834.
- (6) 野島一彦 1996 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1995) 福岡大学人文論叢, 27(4), 2049-2074.
- (7) 野島一彦・坂中正義 1997 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1996) 九州大学心理臨床研究, 16, 81-99.
- (8) 野島一彦・坂中正義 1998 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1997) 九州大学心理臨床研究, 17, 99-112.
- (9) 野島一彦・坂中正義 1999 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1998) 九州大学心理臨床研究, 18, 135-150.
- (10) 野島一彦・坂中正義 2000 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1999) 九州大学心理臨床研究, 19, 103-120.
- (11) 野島一彦・坂中正義 2001 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(2000) 九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.

- 神療法」に関する文献リスト (2000)
九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.
- (12) 野島一彦・坂中正義 2002 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2001)
九州大学心理臨床研究, 21, 151-168.
- (13) 野島一彦・坂中正義 2003 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2002)
九州大学心理臨床研究, 22, 207-223.
- (14) 野島一彦・坂中正義 2004 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2003)
九州大学心理臨床研究, 23, 131-143.
- (15) 野島一彦・坂中正義 2005 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2004)
九州大学心理臨床研究, 24, 117-128.
- (16) 野島一彦・坂中正義 2006 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2005)
九州大学心理臨床研究, 25, 137-153.
- (17) 野島一彦・坂中正義 2007 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2006)
九州大学心理臨床研究, 26, 251-268.
- (18) 野島一彦・坂中正義 2008 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2007)
九州大学心理臨床研究, 27, 137-152.
- (19) 野島一彦・坂中正義 2009 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2008)
九州大学心理臨床研究, 28, 165-179.
- (20) 野島一彦・坂中正義 2010 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2009)
九州大学総合臨床心理研究, 2, 101-121.
- (21) 野島一彦・坂中正義 2011 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2010)
九州大学総合臨床心理研究, 3, 185-198.
- (22) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2011)
九州大学総合臨床心理研究, 4, 143-162.
- (23) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2012)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 9, 3-18.
- (24) 野島一彦・坂中正義 2014 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2013)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 10, 3-25.
- (25) 野島一彦・坂中正義 2015 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2014)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 11, 5-23.

今回のリストは、「集中的グループ経験」と「集団精神療法」の2015年（1月～12月）の文献を収録している。また、これまでのリストにもれたものを追録という形で収録している。

第I部：「集中的グループ経験」

「集中的グループ経験」には、感受性訓練 (ST)、Tグループ、ラボトリー・トレーニング、グループ・カウンセリング、健康増進セミナー、自己発見のための合宿セミナー、自己との出会いのためのグループ合宿、エンカウンター・グループ、グループ・アプローチ、Lグループ、IPR、CST、行動集団カウンセリング、ゲシュタルト療法、交流分析等が含まれる。主に〈成長〉、〈訓練〉を目的とするグループである。

2015年の概況は次のようである。単行本は、発行されなかった。研究論文は、41本で前年より増加した。学会発表(口頭発表)は、日本心理臨床学会で40本、日本人間性心理学会で16本、日本カウンセリング学会で12本、日本集団精神療法学会で6本、日本教育心理学会で6本、日本心理学会で3本で前年より増加した。翻訳(単行本)は、発行されなかった。

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 相原 誠 2015 私とエンカウンター・グループ～メンバーの安全感を大切にしながら～ ENCOUNTER 出会いの広場 No.26, 144-145.
 2. 藤澤希美 2015 COLUMN:無意識の自分に気づかされたダンス/ムーブメントセラピー 集団精神療法, 31(1), 86.
 3. グラバア俊子・畑山知子 2015 体験
- 学習の広がり 対人援助職のためのボディワークプログラム構築の試み—半田常滑看護専門学校 授業報告— 人間関係研究, 14, 205-212.
 4. 細野広美 2015 思春期発達障害女兒グループへ親密な友人関係体験を促す心理劇展開の在り方 心理臨床学研究, 33(5), 451-461.
 5. 石田裕久 2015 看護学臨地実習へのLTD話し合い学習法応用の試み 人間関係研究, 14, 86-101.
 6. 石田妙美 2015 看護教諭養成におけるエンカウンター・グループの実践 ENCOUNTER 出会いの広場 No.26, 101-105.
 7. 石倉 篤 2015 Tグループにおける他者との関わりを通じた在り方の変容の過程(2)—体験過程が進展した参加者の語りのKJ法による検討— 人間関係研究, 14, 183-204.
 8. 石倉 篤 2015 ラボトリー・トレーニングにおけるモデルの検討—モデルの相補性に焦点をあてて— 人間関係研究, 14, 213-228.
 9. 岩村 聡・森田純子ら 2015 仲間中心のエンカウンター・グループにおけるファシリテータータイプな言動や態度や集団運営 ENCOUNTER 出会いの広場 No.26, 147-148.
 10. 上倉安代・益子洋人他 2015 病院臨床における関わり方の困難な認知症患者への集団回想法の効果 心理臨床学研究, 33(2), 185-190.
 11. 金子周平 2015 ラージ・グループ 大きなグループの大きな可能性 ENCOUNTER 出会いの広場 No.26,

- 137-141.
12. 小林 誠 2015 ベースキャンプの定点観測—広島EGと私 ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 173-174.
 13. 小柳晴生 2015 「ゆっくり生きる」ことを援助するエンカウンター・グループ ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 73-80.
 14. 日下菜穂子・石川眞理子他 2015 生きがい創造プログラムによる介入の高齢女子受刑者の主観的well-beingにおける影響 心理臨床学研究, 33(3), 263-274.
 15. 増田 實 2015 エンカウンター・グループでの「課題・関心別セッション」の意義などを探る ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 85-94.
 16. 松本 剛 2015 ベーシック・エンカウンター・グループにおけるファシリテーターの「自己一致」—ファシリテーター研修グループのふりかえりをもとに— 人間関係研究, 14, 37-48.
 17. 水野邦夫 2015 授業への構成型グループ・アプローチの導入にみる逸楽行動の特徴について—構成的グループ・エンカウンターの場合— 人間関係研究, 14, 66-78.
 18. 森田純子 2015 エンカウンター・グループに参加するようになって ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 176-177.
 19. 本山智敬 2015 高校生と共に作ったエンカウンター・グループ ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 95-100.
 20. 本山智敬 2015 特集にあたって ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 135-136.
 21. 村久保雅孝 2015 ナラティブ・アプローチによるエンカウンター・グループ体験の日常性に関する考察 東亜臨床心理学研究, 14, 35-47.
 22. 村久保雅孝 2015 私が思い描くエンカウンター・グループの実践と研究のこれから ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 67-70.
 23. 村山 正治・古野 薫 他 2015 PCAGIP法の実際(VII) 東亜大学大学院心理臨床研究, 15, 65-82.
 24. 中地展生 2015 不登校児の親グループの発展段階に応じたファシリテーション 人間関係研究, 14, 79-85.
 25. 「人間関係研究」(2015年, 第14号) 2015 〈特集:「グループの可能性と広がり」〉日本人間性心理学会第33回大会自主企画「グループ臨床体験を語り合う集い」, 人間関係研究, 14, 1-36.
野島一彦 (企画者)
高橋紀子 (司会者)
岡村達也 (司会者)
下田節夫 (話題提供者)
藤 信子 (話題提供者)
津村俊充 (話題提供者)
坂中正義 (指定討論者・編集校正)
金子周平 (指定討論者)
 26. 人間関係研究会 2015 特集〈エンカウンター・グループの新たな可能性〉ENCOUNTER 出会いの広場 No. 26, 133-145.
特集にあたって (本山智敬)
ラージ・グループ 大きなグループの大きな可能性 (金子周平)
方法としてのエンカウンター・グループ

- プ—自分らしくあるために— (白井祐浩)
- 私とエンカウンター・グループ～メンバーの安全感を大切にしながら～ (相原誠)
27. 西村 馨・木村能成他 2015 児童活動集団療法の一手法 —関係性の視点からの考察と可能性— 心理臨床学研究, 33(3), 309-314.
 28. 野島一彦 2015 畠瀬稔先生のエンカウンター・グループ研究をめぐって 人間性心理学研究, 33(1), 9-11.
 29. 野島一彦 2015 畠瀬稔先生のエンカウンター・グループ研究をめぐって ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 40-42.
 30. 野島一彦 2015 岩村・森田・本山論文へのコメント ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 169-170.
 31. 大島利伸 2015 グループの可能性と広がりに関する私論 人間関係研究, 14, 49-65.
 32. 尾崎かほる 2015 エンカウンター・グループと私 ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 61-66.
 33. 西南学院大学学生相談室 2015 グループ活動 (集団心理療法) 学生相談室報 (第27号) 2014年版, 21-23.
 34. 白井祐浩 2015 方法としてのエンカウンターグループ—自分らしくあるために— ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 142-143.
 35. 杉浦崇仁・古野 薫他 2015 「PCAグループ」及び「PCAGIP法」に関する文献リスト (2014) 東亜臨床心理学研究, 14, 49-54.
 36. 鈴木聖幸 2015 ヒューマン・ムーブメントの流れの中で ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 83-84.
 37. 鈴木研司・平山栄治 2015 エンカウンター・グループにおいて心理的成長がもたらされるメカニズムについて—高成長者と低成長者の個人過程の比較から— 心理臨床学研究, 33(5), 462-472.
 38. 高橋紀子 2015 エンカウンターグループとエンカウンターグループ的なものについての—考察 ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 71-72.
 39. 津村俊充 2015 プロセスに焦点をあてたファシリテーションを学ぶ研修をデザインする 人間関係研究, 14, 102-132.
 40. 都能美智代 2015 沖縄スローエンカウンター・グループからの気付き ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 81-82.
 41. 山西早苗 2015 私にとってのエンカウンター・グループ ENCOUNTER 出 会 い の 広 場 No.26, 175.

C. 学会発表

1. 荒井美音里 2015 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 62-63.
2. 浅田 護・菅 武史 2015 思春期両親ガイダンスグループの臨床経験から—その治療的なはたらきとリスクについて— 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 56.
3. 張 彩虹・友納艶花 2015 日本人学生と中国人留学生の半構成型エンカウン

- ター・グループの事例検討—文化的自己観に着目して— 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 147.
4. 榎本万里子・島谷まき子 2015 心理劇におけるシェアリング体験の検討—ドラマ体験および心理劇の効果との関係から— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 359.
 5. 藤田 雄 2015 認知症の家族介護者への問題解決を志向する集団介入の試み—有効性を高めるグループの構造化およびファシリテータの役割についての検討— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 175.
 6. 原田恵理子・渡辺弥生 2015 SSTに参加した教職課程の学生は何を学ぶのか 日本教育心理学会第57回総会プログラム
 7. 羽田舞子・工藤 剛 他 2015 Tグループの書記としてグループを体験する事への一考察 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 42.
 8. 五十嵐哲也・祖父江典人 他 2015 学級単位の集団心理教育によるソーシャルスキルの育成—発達障害特性の緩和と他者への配慮を目指した小学校通常学級での実践を通して— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 295.
 9. 池田恭子・岩男尚美 他 2015 心理劇体験尺度による俳句を題材とした心理劇の検討 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 358.
 10. 池田豊應・槌山 愛 他 2015 不登校生徒のためのグループ・アプローチ 第14報—「共通感覚」の問題— 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 88-89.
 11. 井ノ山正文・田上不二夫 2015 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(74)—小中学校における対人関係ゲーム導入の効果— 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
 12. 石塚 章 2015 被災後の防災学習とこころのサポート授業について—防災学習とこころのサポート授業における生徒の感想から— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 395.
 13. 石倉 篤 2015 Tグループにおける他者との関わりを通じた在り方の変容の局面—KJ法による検討— 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 120-121.
 14. 岩男美美・水貝洵子 他 2015 対人交流に困難を有する女兒への集団心理療法(1)—自閉傾向を伴う児童・思春期を対象としたプログラム展開— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 205.
 15. 岩男尚美・下池沈史朗 他 2015 集団療法における社会的役割関係への焦点化を個人特性への焦点化—大学授業における心理劇実践のあり方の検討— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 354.
 16. 岩田光宏・西田典子 他 2015 ひきこもり事例の多様なニーズに対応する集団支援の方法 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 164.
 17. 伊澤 孝・田上不二夫 2015 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(75)～頻尿に悩む高学年女兒が改善に至るまでの経過～ 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
 18. 春日作太郎 2015 女子学生の友人に援助を求める行動の変容に及ぼす表現技

- 法を交えた自助活動の効果—大学生の当事者研究— 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
19. 片柳光昭 2015 被災地における支援者とのグループの実践を通して 日本集団精神療学会第32回大会プログラム, 41.
 20. 川俣理恵 2015 育てるカウンセリング—國分記念賞受賞者講演：個人および集団の状態に合わせたグループ・アプローチの展開とその効果について 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム, 24.
 21. 喜納海里・赤嶺遼太郎 2015 離島におけるがん患者グループへの相談支援の実際—テキストマイニングを用いた探索的研究— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 600.
 22. 北田朋子・村山正治 2015 施設入居高齢者へのパーソンセンタードアプローチの導入と考察—「音楽とおしゃべり」を用いて— 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 66-67.
 23. 北原恵美・田上不二夫ら 2015 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(76)—多部制・単位制高校における対人関係ゲーム導入プログラム— 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
 24. 小西宏幸 2015 不登校児を対象とした集団セッションストレス耐性の向上を意図した心理学的介入の1プログラム— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 638.
 25. 黒木幸敏 2015 中学生の自尊感情にアサーション・トレーニングが及ぼす影響について—ロールプレイを導入した小集団とそうでない小集団を対象とした実践の比較を通して—日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 57.
 26. 黒水 温・高松勝也 2015 小学生への対人スキルアップ学習の実践とその効果の検証—核のプログラムとショートプログラムを組み合わせた スキル定着のための手立てを通して— 日本教育心理学会第57回総会プログラム
 27. 松澤裕子・田上不二夫 2015 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(73)—特別な教育的支援を必要とする児童を含む学級への視覚支援を用いた効果— 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
 28. 三宅幹子・瀬崎紗也加 2015 小学校における対立解消に焦点を当てたピア・サポート・トレーニングの効果の検討 日本教育心理学会第57回総会プログラム
 29. 三上温子・江原勝久他 2015 感情のコントロールに焦点化したグループワークの試み(中1・2)—児童心理治療施設(情緒障害児短期治療施設)での取り組み— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 321.
 30. 南 雅則・松本 剛 2015 PCAGIP法による事例検討が教師のビリーフと被援助志向性に与える影響 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
 31. 三田村柳・一言英文 2015 機能的アサーション尺度作成の試み(2)—アサーション・トレーニングによる尺度得点の変化 日本心理学会第79回大会プログラム
 32. 水野行範 2015 私はグループを促進するような人間であり得るのか—非暴力

- ファシリテーションの可能性― 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 96-97.
33. 水野邦夫 2015 自己意識特性がグループ体験に及ぼす影響―構成的グループ・エンカウンターの場合― 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
34. 望月洋介・井上淳他 2015 若手心理臨床家のグループで行うPCAGIPの効果―量的データの統計学的検定による検討― 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 403.
35. 望月洋介 2015 ファシリテーターが感情的に巻き込まれた状況でのPCAGIPのファシリテーション 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 86-87.
36. 森本文子 2015 大学院1年生を対象とした継続型エンカウンター・グループの試み 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 110-111.
37. 本山智敬・西木 聡他 2015 「セルフデザイン・アプローチ」の視点によるリーダー研修プログラムの開発 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 126-127.
38. 村上恵子・北田朋子他 2015 大学院ケースカンファレンスにおけるPCAGIP法の試み―事例の提供・プロセス・結果・意義の考察― 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 82-83.
39. 村久保雅孝 2015 ベーシック・エンカウンター・グループ研究におけるナラティブ・アプローチの可能性 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 74-75.
40. 長野恵子・西村麻希他 2015 県外からの避難者に対するグループ支援活動のプロセス (第3報) 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 239.
41. 中井裕子・内田利広 2015 小学生に対するストレスマネジメントを中心とした心理教育プログラムの効果 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 523.
42. 中嶋健治・江原勝久他 2015 感情のコントロールに焦点化したグループワークでの試み (小学校) ―児童心理治療施設 (情緒障害児短期治療施設) での取り組み― 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 322.
43. 中村恵子・北原恵美ら 2015 対人関係ゲームによる学級の間関係づくり (77)―知性優位から共感的関係づくりへと教師のキャリア発達にゲームが及ぼす効果― 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
44. 中谷千鶴 2015 新人看護師のストレスマネジメント研修の取り組み―自己のこころの状態に気づき, 対処行動がとれるようなサポートを考える― 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 372.
45. 中植満美子・小泉誠他 2015 不適應行動のある児童養護施設入所児童への集団療法その4 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 207.
46. 難波愛・岩田直也 2015 不登校の子どもと保護者に対する宿泊型プログラムに関する研究第5報(2)―実施主体変更を経た保護者調査から― 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 636.
47. 日本カウンセリング学会 (第48回)

- 2015 自主企画シンポジウム：〈「対人関係ゲーム」のさらなる可能性を求めてⅡ〉日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
- 瀧澤洋司（企画・司会）
 岸田幸弘（話題提供者）
 岸田優代（話題提供者）
 松澤裕子（話題提供者）
 瀧澤洋司（話題提供者）
 田上不二夫（指定討論者）
 中村恵子（指定討論者）
48. 西田和典・平田藍子他 2015 小規模児童相談所におけるグループワーク実践の試み②—「セカンドステップ」プログラムの工夫と有効性の検討— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 356.
49. 西村 馨・木村能成他 2015 中学生男子のグループセラピー—凝集性の力動的発達— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 204.
50. 野田 諭・水野行範 2015 ファミリーグループ（家族のエンカウンターグループ） 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 112-113.
51. 野島一彦 2015 エンカウンター・グループのオーガナイザーの役割 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 29.
52. 野村華子・本村雅宏ら 2015 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(78)—対人関係ゲーム・プログラム構成ノートの作成について— 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
53. 岡田康伸 2015 学会賞受賞者講演：箱庭療法とファンタジーグループ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 4.
54. 大河内範子 2015 膠原病患者のサポートグループ—膠原病患者の心理と心理専門家の役割— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 53.
55. 大森真澄・青戸由理子 2015 看護師のためのサポートグループの実践—精神科病棟で働く男性看護師の体験— 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 36.
56. 坂口幸弘 2015 サポートグループ参加遺族のビリーブメントリスク：BRAT 日本語版によるアセスメント 日本心理学会第79回大会プログラム
57. 酒井玲子・佐藤友里他 2015 「集団産後メンタルケアプログラム」の試み—母子にとっての「抱える環境」を目指して— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 217.
58. 佐名手三恵・中嶋健治他 2015 感情コントロールに焦点化したグループワークの試み（中3）—DBTスキル訓練を参考にした児童心理治療施設（情緒障害児短期治療施設）での取り組み— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 320.
59. 佐藤かな美・岡本美穂他 2015 児童期女子活動集団療法における個人の葛藤と仲間関係の発展 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 203.
60. 澤 聡一 2015 大学生1年生のアルバイト体験に関する探索的研究—「ブラックバイト」等のアルバイトの理想と現実に着目して— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 653.
61. 下池洸史朗・牧山翔子他 2015 拒否

- 感や落ち着きのなさを示す小3男児とのグループセラピー—セラピューティック・トライアングルによる安心感の形成と自己表現の促し— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 209.
62. 白井祐浩・金子信一他 2015 セラピスト・センタード・トレーニングの効果の検討—自由記述の分類・整理を通して— 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 76-77.
63. 梶原彰子・藤若恵美他 2015 小学校中学年女子児童の集団活動の取り組み(2)—選択性緘黙・不安の高い女子児童の継続した集団活動の試みを通して— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 352.
64. 杉浦崇仁・木村太一他 2015 PCAグループにおけるC.R.Rogersの3条件の変化についての考察 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 124-125.
65. 高橋亜希 宮崎圭子 2015 老いをテーマとした実存的アプローチによるデス・エデュケーションプログラムの作成と効果検証 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 183.
66. 高岡しの・猪澤 歩ら 2015 女子短大生に対するグループワークプログラム実践の試み(3) 日本教育心理学会第57回総会プログラム
67. 鷹取眞理・後藤秀爾 2015 子育て支援における母親グループの役割と機能—「母になる」という発達ラインを中心に— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 269.
68. 田上不二夫 2015 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(71)—人間関係プログラムで使われているゲーム— 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
69. 友納艶花・張 彩虹 2015 日本人学生と留学生の相互コミュニケーションの促進について—半構成型エンカウンター・グループ方式による検討— 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 141.
70. 鳥川智史・上松幸一他 2015 小規模児童相談所におけるグループワーク実践の試み③—セカンドステップの効果測定にかかるソディテスト活用の意義について— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 357.
71. 東郷和美・岩田直也他 2015 不登校の子どもと家族に対する宿泊型プログラムに関する研究第5報(1)—実施主体変更を経た子ども調査から— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 635.
72. 筒井優介 2015 PCAグループにおける夢解釈の実際と意義 日本人間性心理学会第34回大会プログラム・発表論文集, 44-45.
73. 内田圭子・中村恵子ら 2015 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(72)—対人関係ゲーム研究(2002~2008)の変遷(1)— 日本カウンセリング学会第48回大会プログラム
74. 上原貴夫 2015 キャンプ・カウンセリングに関する研究(6)—キャンプ活動がカウンセリング効果を持つためのメカニズムに関する研究の論点整理— 日本教育心理学会第57回総会プログラム
75. 山口豊一・松寄くみ子 2015 対人関

- 係に関するソーシャルスキルトレーニングの介入研究(2)—中学生を対象として— 日本心理学会第79回大会プログラム
76. 山口豊一・中澤里香ら 2015 対人関係に関するスキルトレーニングの介入研究(1)—中学生を対象として— 日本教育心理学会第57回総会プログラム
77. 山喜義枝・森吉里奈他 2015 関係性を育てるための児童期発達障害児グループの検討—ADHDの診断を受けた小4男児Aの活動を中心に— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 208.
78. 山本彩留子 2015 児童養護施設における特別支援児童へのグループの取り組み—ボランティアの活用を踏まえて— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 265.
79. 山下裕子・巖岩秀章 2015 大学共同体におけるピア・サポートグループの成長プロセス 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 54.
80. 山下陽平・窪田由紀他 2015 学校コミュニティの危機への支援者養成プログラムの検討—臨床心理士研修の実際— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 652.
81. 吉村拓美・上松幸一他 2015 小規模児童相談所におけるグループワーク実践の試み①—職員の意識調査結果から— 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 355.
82. 吉澤 聡・小林正稔 2015 児童養護施設における身体的・エクササイズ・サイコセラピーの影響(5)—ライフスキルの発達基準による直接援助職員の一事例— 日本心理臨床学会第34回大会発表論

文集, 309.

D. 翻訳

[該当文献なし]

E. 書評

[該当文献なし]

F. 海外文献紹介

[該当文献なし]

付：「集中的グループ経験」に関する文献リスト〔～2014〕の追録

A. 単行本

[該当文献なし]

B. 研究論文

1. 荒井美音里 2014 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 11, 71-77.
2. 大谷哲弘・粕谷貴志 2014 高等学校入学時における学級適応を目的としたグループアプローチプログラムの検討 カウンセリング研究, 47(2), 96-107.
3. 新開佳子・北田朋子 2014 臨床心理研究センターでのショート(短期)サークルグループ活動の試み～センター周辺の同窓生グループと町内グループの実践を通して～ 東亜大学大学院心理臨床研究, 14, 47-54.

C. 学会発表

[該当文献なし]

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

第Ⅱ部：「集団精神療法」

「集団精神療法」には、集団心理療法、グループ・セラピー、心理劇（サイコドラマ）、活動集団療法、集団遊戯療法、集団分析、グループワーク、治療キャンプ、集団絵画療法、音楽療法、生活技能訓練（SST）、デイケア、治療共同体、ソーシャル・クラブ、セルフ・ヘルプ・グループ、ダンス療法、グループ連動表現療法、レクリエーション療法等が含まれる。主にく治療を目的とするグループである。

2015年の概況は次のようである。単行本は、発行されなかった。研究論文は、64本で前年より減少した。学会発表（口頭発表）は、日本集団精神療法学会で38本、日本心理臨床学会で10本、前年より増加した。翻訳（単行本）は、発行されなかった。

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 相田信男 2015 シンポジウム：集団精神療法における治療文化と歴史性：集団精神療法における治療文化と歴史性—

精神科病院の現場から/精神分析的観点に立って— 集団精神療法, 31(2), 278-283.

2. 相澤秀子 2015 学会印象記1：平成26年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 集団精神療法, 31(1), 87-88.
3. 荒川香代子・神宮京子 2015 ワークショップ：関わりのダンス—ダンス/ムーヴメントセラピー— 集団精神療法, 31(2), 136-140.
4. 荒木章太郎・柴田応介 2015 テーマセッション：うつ病リワークにおける双極性障害の支援 集団精神療法, 31(2), 234-238.
5. 浅田 護 2015 テーマセッション：思春期親ガイダンスグループの臨床 集団精神療法, 31(2), 256-262.
6. 築田昌明・横山太範他 2015 ワークショップ：成人ASD (Autism Spectrum Disorder) 者に対する集団精神療法—事例を用いて治療効果, グループプロセスを検討する— 集団精神療法, 31(2), 164-167.
7. 藤 信子 2015 特集：特集にあたって 集団精神療法, 31(1), 8-10.
8. 藤 信子 2015 報告：「東日本大震災から・その後」編集後記 集団精神療法, 31(1), 74.
9. 藤 信子・田原明夫他 2015 ワークショップ：東日本大震災関係者の相互支援グループⅧ 集団精神療法, 31(2), 157-163.
10. 福永絵里 2015 テーマセッション：精神科療養病棟で異なる構造の3つのグループを行うことの意味 集団精神療

- 法, 31(2), 216-221.
11. 二木貴史・柴田応介 2015 テーマセッション：グループが成長した時 集団精神療法, 31(2), 228-233.
 12. 権 成鉉 2015 大会長講演：集団精神療法における治療文化と歴史性—対象関係集団精神療法の視点から— 集団精神療法, 31(2), 124-129.
 13. 東 知幸 2015 コラージュを組み合わせた人生グラフテストを活用した構成的グループ・エンカウンター 心理臨床学研究, 33(1), 4-14.
 14. 堀 有伸 2015 学会印象記1：第14回日本トラウマティック・ストレス学会参加印象記 集団精神療法, 31(2), 305-306.
 15. 堀川百合子・堀川公平他 2015 ワークショップ：「治療共同体」と「集団精神療法」—治療文化の創造と継続— 集団精神療法, 31(2), 168-173.
 16. 池田真人 2015 テーマセッション：異文化としての治療グループ—精神障害が異文化であるその上に— 集団精神療法, 31(2), 239-243.
 17. 稲村 茂 2015 報告：被災地から避難してきている被災者への支援 集団精神療法, 31(1), 58-63.
 18. 猪師由郁子 2015 COLUMN：「おみくじ」から考えたこと 集団精神療法, 31(1), 82.
 19. 石田淑恵 2015 テーマセッション：2～4歳の自閉症スペクトラム児の精神分析的グループプレイセラピー 集団精神療法, 31(2), 199-204.
 20. 石川見佳 2015 COLUMN：すっばくて苦かったグループと私 集団精神療法, 31(1), 66.
 21. Jeffrey D.Roth, MD 2015 Letters to the editor：日本の集団精神療法家達へ—2016年グループ・リレイションズ・コンファレンスin中国：グループ・リレイションズ・コンファレンスの中で権威、境界、タスクそして役割を学ぶ— 集団精神療法, 31(2), 313-314.
 22. 神宮京子 2015 学会印象記3：日本精神分析学会印象記 集団精神療法, 31(2), 309-310.
 23. 柿田充弘 2015 研究会だより：信州グループ研究会 集団精神療法, 31(1), 93-94.
 24. 片柳光昭 2015 テーマセッション：被災地における支援者とのグループの実践を通して 集団精神療法, 31(2), 222-227.
 25. 加藤祐介・野島一彦他 2015 ワークショップ：“合わない”メンバーを排除する闘争・逃避現象の反復—偽りの凝集性と行動化への介入—（精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会） 集団精神療法, 31(2), 174-180.
 26. 川口玲華・上田玲美他 2015 事例検討：摂食障害グループ20年の経過から見た特徴と対応 集団精神療法, 31(2), 193-198.
 27. 川合裕子 2015 学会印象記3：II NODO GROUP：International Working Conference “Learning from Action” Decision making and accountabilityに参加して 集団精神療法, 31(1), 91-92.
 28. 北西憲二 2015 シンポジウム：集団精神療法における治療文化と歴史性：森田療法と集団 集団精神療法, 31(2),

- 271-277.
29. 古賀禎也・堀川百合子他 2015 テーマセッション：病的ギャンブルグループの抑うつを抱える力について—5年間のグループ経過をメンバー・スタッフ双方の視点から振り返って— 集団精神療法, 31(2), 244-249.
30. 小谷英文・橋本麻耶他 2015 報告：ストーリー・メイキング・グループの力動的治療機序—東日本大震災臨床事例から— 集団精神療法, 31(1), 48-57.
31. 窪田 彰 2015 特集：多機能型精神科診療所での多職種チーム 集団精神療法, 31(1), 21-27.
32. 栗田七重 2015 COLUMN：外国人・国際結婚家庭の子育て支援としてのグループの活用 集団精神療法, 31(2), 249.
33. 三澤 剛 2015 特集：医療観察法における多職種チーム医療とその理念 集団精神療法, 31(1), 28-34.
34. 三輪幸二郎・野口寿一 2015 自閉的な統合失調症者と絵本を読むグループ活動の試み 心理臨床学研究, 33(2), 127-137.
35. 森本松子・福澤宏之他 2015 ワークショップ：外来・急性期病棟における集団精神療法の実際と意義—入院期間の短縮・地域生活移行の動向を踏まえて— 集団精神療法, 31(2), 141-146.
36. 永井 翔 2015 COLUMN：感情が吐き出されるSNS 集団精神療法, 31(2), 262.
37. 西村 馨 2015 巻頭言：交錯する経験の記憶 集団精神療法, 31(1), 5-7.
38. 西山 豪・小嶋嘉子 2015 テーマセッション：閉棟に向けての慢性期開放病棟でのコミュニティミーティング 集団精神療法, 31(2), 250-255.
39. 新田耕佑 2015 テーマセッション：通常の学級における特別支援の一機能について—特殊作動グループの観点から— 集団精神療法, 31(2), 205-209.
40. 野村 学 2015 学会印象記2：九州臨床心理学会第43回佐賀大会（2015年2月6日（金）～8日（日）, 佐賀市アバンセ）印象記 集団精神療法, 31(2), 307-308.
41. 野中 稔・高橋 馨他 2015 ワークショップ：<こうえん>—そこにあるように— 集団精神療法, 31(2), 154-156.
42. 落合尚美・石附牧子 2015 事例検討：再出発した青年期ひきこもりグループの経過を振り返って 集団精神療法, 31(2), 187-192.
43. 岡島美朗 2015 特集：緩和ケア病棟においてグループアプローチは役立つか？ 集団精神療法, 31(1), 35-40.
44. 大森真澄・青戸由理子 2015 テーマセッション：看護師のためのサポートグループの実践—精神科病棟で働く男性看護師の体験に焦点を当てて— 集団精神療法, 31(2), 210-215.
45. 大西豊史・関根慶輔 2015 文献紹介：移行対象としての青年期グループ 集団精神療法, 31(2), 300-304.
46. 齊藤 雅 2015 Letters to the editor：中国に集団精神療法の種を播く 集団精神療法, 31(2), 311-313.
47. 坂口信貴 2015 シンポジウム：集団

- 精神療法における治療文化と歴史性：多様な集団精神療法と社会との連続性 集団精神療法, 31(2), 291-295.
48. 榊 恵子 2015 職業をベースとしたピア・グループにおける対象喪失—精神看護学教員のグループでの体験— 集団精神療法, 31(1), 75-81.
49. 関 百合 2015 学会印象記2：16th European Symposium in Group Analysis 集団精神療法, 31(1), 89-90.
50. 白石 潔 2015 COLUMN：「心理教育」と「集団精神療法」 集団精神療法, 31(2), 186.
51. 曾根原純子 2015 特集：総合病院（急性期病院）におけるコンサルテーション活動—リエゾンナースの実践から— 集団精神療法, 31(1), 41-47.
52. 須知高照 2015 報告：被災地の体験—被災地のクリニックで想っていること— 集団精神療法, 31(1), 64-66.
53. 鈴木純一 2015 集団療法の治療者に必要なクオリティ 精神療法, 41(5), 673-678.
54. 鈴木純一 2015 シンポジウム：集団精神療法における治療文化と歴史性：集団療法における治療文化と歴史性—個人的な経験から— 集団精神療法, 31(2), 284-290.
55. 田原明夫・林健示他 2015 報告：東日本大震災関係者の相互支援グループⅦ—経過と展望— 集団精神療法, 31(1), 67-73.
56. 高田 毅 2015 COLUMN：福島での発声練習心理教育プログラムを通して 集団精神療法, 31(1), 7.
57. 高橋哲郎 2015 特別講演：研修・体験グループと臨床・治療グループの断絶とつながり 集団精神療法, 31(2), 130-135.
58. 高橋美紀・藤巻加奈子 2015 ワークショップ：集団精神療法としてのサイコドラマ—サイコドラマ体験ワークショップ— 集団精神療法, 31(2), 181-186.
59. 高良 聖 2015 シンポジウム：集団精神療法における治療文化と歴史性：集団精神療法における治療文化と歴史性—サイコドラマの視点から— 集団精神療法, 31(2), 264-270.
60. 田代 順 2015 ワークショップ：ナラティブなグループアプローチを体験する（その5）—多声的多重対話グループの試み：オープンダイアログとアウトサイダーウィットネスの応用によるポリフォニックなアプローチを通して— 集団精神療法, 31(2), 147-153.
61. 塚瀬将之 2015 COLUMN：統合失調症と集団精神療法, そして私にとっての集団療法体験 集団精神療法, 31(2), 295.
62. 宇佐美政英・佐竹直子他 2015 特集：関係者会議に携わって感じたこと 集団精神療法, 31(1), 11-20.
63. 渡部京太 2015 巻頭言：『ぐるぐるグループ』を体験してみませんか？ 集団精神療法, 31(2), 120-122.
64. 横山太範 2015 医療リワークプログラム内で行う成人発達障害者支援—Mutual Communication Programとサイコドラマ— 精神経誌, 117(3), 212-220.

C. 学会発表

1. 相田信男 2015 シンポジウム：集団

- 精神療法における治療文化と歴史性～精神科病院の現場から、精神分析的観点にたつて～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 64.
2. 荒川香代子・浅田 護 2015 ダンス/ムーブメントセラピー～グループにおけるDMTの役割とその働きについて～日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 59.
 3. 荒木章太郎・柴田応介 2015 うつりワークにおける双極性障害の支援～双極性障害Ⅱ型のサブグループとしての機能～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 44.
 4. 藤 信子・田原明夫他 2015 ワークショップ：東日本大震災関係者の相互支援グループ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 45.
 5. 福築みか・諏訪淳哉 2015 急性期総合病院におけるグループ活動（集団精神療法）の試み①～グループ立ち上げから構造化に至るまで～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 232.
 6. 福永絵里・花岡陽子 2015 精神科療養病棟で異なる構造の3つのグループを行うことの意味 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 38.
 7. 権 成鉉 2015 大会長講演：集団精神療法における治療文化と歴史性～対象関係集団精神両方の視点から～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 18.
 8. 堀川百合子・堀川公平他 2015 ワークショップ：「治療共同体」と「集団精神療法」～治療文化の創造と継続～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 48.
 9. 池田真人 2015 異文化としての治療的グループ～精神障害が異文化であるその上に～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 52.
 10. 池田大輔・堀川公平他 2015 スタッフを支える機能としての「全体スタッフミーティング」 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 37.
 11. 石田淑恵 2015 2～4歳の自閉症スペクトラム児のグループプレイセラピー 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 24.
 12. 石田恵子 2015 集団の中で関係性が変化してきた広汎性発達障害者の事例～広汎性発達障害者の人間関係の変化～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 213.
 13. 神宮京子・荒川香代子 2015 ワークショップ：関わりのダンス～ダンス/ムーブメントセラピー～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 21.
 14. 加藤祐介・野島一彦他 2015 ワークショップ：“合わない”メンバーを排除する闘争・逃避現象の反復～偽りの凝集性と行動化への介入～（精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会） 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 49.
 15. 川口玲華・上田玲実他 2015 摂食障害グループ20年の経過から見た特徴と対応 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 46.
 16. 木村能成 2015 活動集団療法で認められた子どもの「妬み」の変化～集団が子どもの情動調整機能に与えるもの～

- 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 55.
17. 北西憲二 2015 シンポジウム：森田療法と集団～集団精神療法における治療文化を歴史性～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 63.
 18. 古賀禎也・堀川百合子他 2015 病的ギャンブリンググループの抑うつを抱える力について～5年間のグループ経過をメンバー・スタッフ双方の視点から振り返って～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 53.
 19. 道重さおり・今村洋子 2015 刑事施設における集団認知行動療法を取り入れた飲酒問題指導の効果についての検討 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 607.
 20. 水貝洵子・岩男美美他 2015 対人交流に困難さを有する女兒への集団心理療法(2)―中学生女子を対象としたプログラム展開のあり方― 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 206.
 21. 輿石明子 2015 精神科急性期病棟における集団心理教育の試み～「退院準備講座」参加者のアンケート結果より～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 431.
 22. 久保蘭悦子・緑門愉季子 2015 心療内科クリニックにおけるリワークプログラムの実践～短期間のリワーク支援で再就職した一事例から～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 211.
 23. 工藤 剛・柴田応介他 2015 何度も回帰するもの～水曜日の活動報告より～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 35.
 24. 黒崎優美 2015 全体としてのグループにおける「いじめ」とその類型化～Bionの集団論に基づく理論的モデルの提示～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 34.
 25. 緑門愉季子・久保蘭悦子 2015 心療内科クリニックにおけるリワークプログラムの実践～臨床心理士が主体的に行うプログラムの確立と実践～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 210.
 26. 森下敬子・前田 潤 2015 認知症高齢者が取り組みやすい回想法の進め方 その2～東大式観察評価スケールの評価者間相関の検討と写真・もの・文字カード使用の比較～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 598.
 27. 武藤翔太 2015 精神科デイケアにおける参加自由の集団精神療法的プログラムの意義～“病院でもデイケアでもない空間”の機能～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 212.
 28. 長堀加奈子 2015 発達障害傾向のメンバーが参加した復職支援のためのグループセラピー～釣りとフィッシングの違いを巡って～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 26.
 29. 中川賢幸 2015 新聞等を用いての高齢者へのグループサイコセラピー～認知症レベルへのR.O法, 回想法について～ 日本心理臨床学会第34回大会発表論文集, 222.
 30. 日本集団精神療法学会(第32回) 2015 シンポジウム：「集団精神療法における治療文化と歴史性」日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 62-65.
権 成鉉 (司会者)

- 谷平 直 (司会者)
 高良 聖 (シンポジスト)
 北西憲二 (シンポジスト)
 相田信男 (シンポジスト)
 鈴木純一 (シンポジスト)
 坂口信貴 (指定討論者)
31. 日本集団精神療学会 (第32回) 2015
 ワークショップ：外来・急性期病棟にお
 ける集団精神療法の実際と意義～入院期
 間の短縮・地域生活移行の動向を踏まえ
 て～ 日本集団精神療学会第32回大会
 プログラム, 23.
 森本松子 (企画者)
 福澤宏之 (企画者)
 二之宮正人 (話題提供者)
 高 富栄 (話題提供者)
 東端憲仁 (スーパーバイザー)
32. 二木貴史・柴田応介 2015 グループ
 が成長した時 日本集団精神療学会第
 32回大会プログラム, 43.
33. 西山 豪・小嶋嘉子 2015 閉棟に向
 けての慢性期開放病棟でのコミュニテ
 ィーティング 日本集団精神療学会第
 32回大会プログラム, 60.
34. 新田耕佑 2015 通常学級における特
 別支援の一機能について～特殊作動グ
 ループの観点から～ 日本集団精神療法
 学会第32回大会プログラム, 33.
35. 小畑千晴 2015 DVシェルターにお
 ける女性たちのグループ実践 日本集団
 精神療学会第32回大会プログラム,
 40.
36. 岡島美朗 (講座担当)・菅 武史 (進
 行) 2015 基礎講座：基礎講座 日本
 集団精神療学会第32回大会プログラ
 ム, 22.
37. 落合尚美・石附牧子 2015 再出発し
 た青年期ひきこもりグループの経過を振
 り返って 日本集団精神療学会第32回
 大会プログラム, 30.
38. 齊藤 雅 2015 はじめての小グルー
 プコンダクター体験から学ぶ～院長がコ
 ンダクターをすることは？～ 日本集
 団精神療学会第32回大会プログラム,
 57.
39. 齊藤千里・榊原あい子他 2015 日本
 昔話を用いたアルコール治療プログラ
 ムの試み～日本昔話をテーマにした小グ
 ループと従来の小グループ (テーマミー
 ティング) の比較検討～ 日本心理臨床
 学会第34回大会発表論文集, 385.
40. 柴田応介 2015 集団と個～鶏が先か
 卵が先か？～集団と個についてのスペキ
 ュレーション～ 日本集団精神療学会
 第32回大会プログラム, 28.
41. 諏訪淳哉・福榮みか 2015 急性期総
 合病院におけるグループ活動 (集団精神
 療法) の試み②～レクリエーションから
 集団精神療法へ～ 日本心理臨床学会第
 34回大会発表論文集, 233.
42. 鈴木純一 2015 シンポジウム：集団
 精神療法と歴史性 日本集団精神療法学
 会第32回大会プログラム, 65.
43. 高橋哲郎 2015 特別講演：訓練グ
 ループと治療グループ～その断絶とつな
 がり～ 日本集団精神療学会第32回大
 会プログラム, 19.
44. 高橋美紀・藤巻加奈子 2015 ワーク
 ショップ：集団精神療法としてのサイコ
 ドラマ～サイコドラマ体験グループ～
 日本集団精神療学会第32回大会プログ
 ラム, 50.

45. 高橋 馨・野中 稔他 2015 ワークショップ：こうえん～since2008～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 32.
46. 高桑 洋介・岡崎 翼他 2015 「復職，再就職を目指す方々のためのグループ療法」第2報～動きすぎるグループと動かなさすぎるグループ～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 51.
47. 高良 聖 2015 シンポジウム：集団精神療法における治療文化と歴史性～サイコドラマの視点から～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 62.
48. 谷口弘之 2015 コミュニティーミーティングによる患者の主体性と問題解決能力の変化 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 61.
49. 田代 順 2015 ワークショップ：ナラティヴなグループアプローチを体験する（その5）～多声的多重対話グループの試み；オープンダイアログ+アウトサイダーウィットネスによるポリフォニックなアプローチを通して～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 31.
50. 塚瀬将之・山崎孝明他 2015 広汎性発達障害（自閉症スペクトラム障害）者に対する集団精神療法においてフォローアップ面接を導入することの意義 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 25.
51. 渡邊良弘 2015 『集団精神療法—理論と実際（鈴木純一著）』で実践を学ぶ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 27.
52. 横山太範・築田昌明他 2015 ワークショップ：成人ASD（Autism Spectrum

Disorder）者に対する集団精神療法～事例を用いて治療効果，グループプロセスを検討する～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 47.

53. 吉田育美 2015 長期入院患者を対象としたお茶会グループの実践～精神科慢性期男女混合病棟におけるアクションリサーチ～ 日本集団精神療法学会第32回大会プログラム, 58.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

1. 神宮京子 2015 刺激的な機会にあたって：開催の辞としてAGPA学会参加の皆様へ 集団精神療法, 31(1), 83-86.
2. 関 百合・柴田応介 2015 海外文献紹介：グループセラピストになること 集団精神療法, 31(2), 296-299.

付：「集団精神療法」に関する文献リスト〔～2014〕の追録

A. 単行本

1. 藤岡淳子 2014 非行・犯罪心理臨床におけるグループの活用～治療教育の実践～ 誠信書房

B. 研究論文

〔該当文献なし〕

C. 学会発表

〔該当文献なし〕

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

1. 岡村達也 2014 「小谷英文 2014 『集団精神療法の進歩～引きこもりからトップリーダーまで～』金剛出版」心理臨床学研究, 32(5), 625-626.

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

〔お願い〕

リストに収録した文献の記述上の誤りを見つけられた方、もれている文献を御存知の方は、筆者まで御連絡願えれば幸いです。

連絡先 〒352-8501 埼玉県新座市中野1
-9-6 跡見学園女子大学文学部
野島一彦

TEL 048-478-4252

FAX 048-478-3475

E-mail nojima@atomi.ac.jp

URL <http://nojimakazuhiko.jimdo.com>